

令和6年6月秋田市議会定例会一般質問者順序

フロンティア秋田 小林 一夫

自 民 党 飯 牟 礼 克 年

秋 水 会 荻 原 貴 幸

そうせいと維新 若 松 尚 利

公 明 党 石 塚 秀 博

共 産 党 佐 藤 純 子

フロンティア秋田 倉 田 芳 浩

自 民 党 小 野 寺 誠

秋 水 会 渡 辺 正 宏

1 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 地域未来投資促進法の基本計画について、県の同意を得られず、3月中の国への申請を断念したことに対する市長の見解はどうか
- (2) 知事の発言に対する市長の見解について
 - ア 同計画について、6月の申請を目指していることに対し、「あの通りであれば、永久に無理」「国が示しているような高付加価値で賃金が高い企業が計画の半分以上になれば無理だ」との発言に対する受け止めはどうか
 - イ 本市がコンパクトな街の形成を目指していることと同地区の大規模開発との整合性について、「秋田駅周辺を中心市街地に人が戻って来ている中で、これまでの民間企業や商店街の努力をぶち壊すようだ。（モデル地区事業が）人口減を防ぐというのは全く根拠がない」との発言に対する受け止めはどうか
 - ウ 市街化調整区域における集客性のある施設の整備について、「望ましくはないが、禁止されていないからやるというのは行政の公序良俗に反する。中身が良いものだったらいいが、中身も相当まずい」との発言に対する受け止めはどうか
- (3) 県の同意を得るために、同計画を見直す考えはあるのか
- (4) 同計画の内容について、見直しが必要と考えている事項と見直しのスケジュールはどうか
- (5) 同計画の国への申請は、市長の現任期中に行うのか
- (6) 新スタジアム整備について、Jリーグから指摘された点は何か、また、当該整備を同地区のまちづくり事業から切り離す可能性と、八橋地区に建設する可能性はあるのか
- (7) 同地区のまちづくりに対する見解の相違を埋め、合意形成を図るため、知事とのトップ会談を何よりも先に行うべきと考えるがどうか

2 第8次秋田市行政改革大綱について

- (1) 職員の改革意識を高めるための方法について、どのように考えているのか
- (2) 公共サービスの改革に伴う市民満足度について、どのように把握するのか
- (3) 行政評価の手法を生かした行政改革の推進に取り組んでいくべきと考えるがどうか

3 包括外部監査について

(1) 令和4年度の指摘事項等について

ア 補助金、負担金及び交付金を支給する事業のうち、支給内容の見直しを行った事業と行わなかった事業は何か、また、その理由はどうか

(2) 令和5年度の見解について

ア 総合計画に係る根拠規定について、「策定までのプロセスのみならず、その進捗管理や事後的な評価まで含めた運用についても、何らかの形で規定化することを検討してはどうか」との見解に対する市の考え方と今後の対応はどうか

イ 総合計画の策定・実行について、「地域住民・企業・その他団体などの参加を高め、計画内で方針・目標・施策を共有し、それぞれの役割分担を明確化して、協働的に地域の課題の識別・解決を果たしていくことが望まれる」との見解に対する市の考え方と今後の対応はどうか

ウ 総合計画策定担当者のスキルアップ機会について、「現部課担当者のスキルアップの機会を設けたり、研修参加を促進することにより計画の質の向上を図ることも重要であると考え」との見解に対する市の考え方と今後の対応はどうか

エ 計画策定に関する知見・経験の引継ぎについて、「各部課での知見や過去の計画策定時の情報・ノウハウなどの引継ぎが適切に行われる必要がある」との見解に対する市の考え方と今後の対応はどうか

4 デジタル化の推進について

(1) 秋田市デジタル化推進計画におけるこれまでの取組と成果及び今後の取組について

ア 手続における情報通信の技術の利用等に係る取組について

イ 官民データの容易な利用等に係る取組について

ウ マイナンバーカードの普及および活用に係る取組について

エ 利用の機会等の格差の是正に係る取組について

(2) チャットGPTをはじめとする生成AIの活用について

ア 活用状況はどうか

イ セキュリティー管理等の課題について、どのような対策を講じているのか

5 昨年の大雨災害への対応に係る検証結果と今後の取組について

(1) 避難情報の発令について

(2) 被災者支援について

(3) 避難所の開設・運営について

(4) 外水氾濫及び内水氾濫への対策について

6 熊対策等について

(1) 指定管理鳥獣対策を取り扱う専門窓口を設置すべきではないか

(2) 熊対策に精通した職員を育成すべきではないか

(3) 警察及び地元猟友会との連携を強化すべきではないか

(4) 熊の餌となる栗や柿の木の伐採、電気柵の設置等に対する補助を行っているかどうか

(5) 箱わなの保有台数を増やすべきではないか

7 第4次秋田市教育ビジョン等について

(1) 豊かな人間性の育成におけるこれまでの取組と成果及び今後の課題はどうか

- (2) 確かな学力の育成におけるこれまでの取組と成果及び今後の課題はどうか
- (3) タブレット端末の活用状況はどうか
- (4) 休日部活動の段階的な地域移行の現状はどうか
- (5) 令和5年度のいじめの件数、不登校児童生徒数及びひきこもりの児童生徒数はどうか、また、今後の対応について、どのように考えているのか
- (6) 教職員の働き方改革の現状はどうか、また、教員志願者の減少による教育現場への影響について、どのように考えているのか

1 外旭川地区まちづくり及び多核集約型コンパクトシティについて

- (1) 外旭川地区まちづくり基本計画について、今後どう見直していくのか、また、本市が目指す多核集約型コンパクトシティに向け、中心市街地や核となる地域の整備を強化すべきと考えるがどうか
- (2) 新スタジアムについては、整備手法や規模などを官民で再検討した上で八橋地区を候補地とし、卸売市場再整備により生じる余剰地は、物流拠点や再生可能エネルギー関連の企業誘致エリアとすべきと考えるがどうか

2 インバウンド対応の強化について

- (1) 民俗芸能伝承館をはじめとする市有観光・文化施設における展示物などの外国語表記や観覧料等の見直しを行うとともに、各施設の特色を生かした商品の開発など物販の充実化を図るべきと考えるがどうか

3 中心市街地活性化について

- (1) 秋田駅前北地区第一種市街地再開発事業の進展に向けて、市としての働きかけを強化すべきと考えるがどうか
- (2) さらに中心市街地活性化には木内百貨店の協力も必要と考えることから、市としての今後の展望を示し所有者と協議する予定はないか
- (3) 千秋公園再整備基本計画の進捗はどうか
- (4) コロナ禍が明けても川反地区の減少した人出の回復や増加した空き店舗の活用が図られていないことから、さらなるにぎわい創出に向け、同地区に特化した支援が必要と考えるがどうか

4 行政サービスについて

- (1) 市民に行政サービスを身近に感じてもらえるよう、子育てなど関連事業ごとに「パッケージ化」すべきと考えるがどうか
- (2) 行政手続のオンライン化や効率化の状況と課題、今後の方針はどう

か、また、市民と職員の負担軽減のためにもフォーム形式の申請を増やしてはどうか

5 子育て世帯・若者支援について

- (1) 本市は子育て世帯に寄り添った十分な支援ができているのか、また、より手厚い支援となるよう、産前・産後ヘルパーを派遣すべきと考えるがどうか
- (2) 妊婦・小児の検査やワクチン、医療にかかる自己負担が大きいことから、市として負担軽減を図るべきと考えるがどうか
- (3) 「官製婚活」は参加のハードルが高いことから、マッチングアプリなどを通じた個々の婚活への支援が適切と考えるがどうか

6 防災について

- (1) 太平川流域の内水被害等軽減対策において、秋田駅東側の防災に向けた本市のインフラ整備の進捗状況はどうか、また、新たな対策を提案する予定はあるのか
- (2) 昨年の大雨で被災した空き家の状況と今後の対応はどうか、また、それ以外の空き家についてはどうか

7 若者によるにぎわい創出と担い手確保に向けた官学連携について

- (1) 市内にある大学の垣根を越えて、学生が地域課題の解決に向けた共通講義の受講や団体活動ができる交流の場を秋田駅前に設けてはどうか
- (2) 地域との関わり合いが地域愛を育て、担い手確保につながると考えることから、地域振興に向けて市内の大学との連携を強化すべきと考えるがどうか

8 ひきこもり対策について

- (1) 市内の関係団体と連携し、ひきこもりの実態調査を行い社会復帰支援を強化してはどうか

1 市長の政治姿勢について

(1) 外旭川地区のまちづくりについて

ア 市長公約として進めてきた外旭川地区のまちづくりの内容を一部見直すとしているが、具体的にどのように見直し、若者にとって魅力あるものとしていくのか、また、事業スケジュールに与える影響はどうか

イ スタジアム整備候補地の検討結果によっては、外旭川地区のまちづくり全体の計画が大幅に変わることになるが、公約として進めてきた市長の思いはどうか

(2) 新スタジアム整備について

ア 八橋運動公園も含めたほかの場所での整備の可能性についても排除せず検討するとしているが、外旭川地区以外への整備の検討は、どの部局で進めるのか、また、どの程度の検討期間を要すると考えているのか

イ 外旭川地区にスタジアムを整備する方針は変えずにライセンス申請をする一方で、ほかの場所での整備を検討することについて、Jリーグの理解は得られると考えているのか

(3) 国の電気・ガス価格激変緩和対策事業が今年6月使用分から廃止されることで、家計へのさらなる打撃となるが、市長の思いはどうか

2 水害対策について

(1) 国土交通省において登録された、太平川流域の内水被害等軽減対策計画では、その取組効果として、おおむね10年間で浸水被害面積の約8割を解消できるとしているが、残り2割の面積について、本市としてどのように対策を進めていこうと考えているのか、また、新たな軽減対策は検討しているのか

(2) 雄物川下流圏域水災害対策プロジェクトにおいて、秋田駅東地区を想定して、公共施設等を活用した雨水貯留機能を有する施設を検討す

るとしているが、今後改修予定の施設はあるのか、また、新たに同地区で改修または建設する民間施設にも、同機能を求める考えはあるのか

- (3) 浸水センサ等を活用した安全・安心のまちづくりの推進について
- ア どの地区にどのようなシステムを設置し、住民に対しての注意喚起や迅速な情報伝達に取り組むのか
 - イ 本市は国土交通省の令和6年度ワンコイン浸水センサ実証実験に参加しているが、新たにセンサを設置するのか、また、設置する場合、どの地区にセンサを設置するのか
 - ウ 同実証実験で得られた成果をどのように活用していくのか

3 行政のデジタル化について

- (1) 紙媒体の削減や情報の閲覧性向上並びに予算・決算の見える化などを目的に、デジタル予算書・決算書を導入してはどうか
- (2) 印刷費用が削減でき、デジタル収集ツールとしても役立つなどのメリットを生かし、本市が発行する紙クーポンをデジタル化する考えはないか

4 グリーントランスフォーメーション（GX）の促進について

- (1) 水素エネルギーの普及促進の観点から、市民にも身近に感じてもらえる取組として、本市で燃料電池自動車を公用車として保有し、各種イベントや防災訓練などで活用できるようにしてはどうか
- (2) 中心市街地循環バス（ぐるる）に次世代エネルギーを燃料とする車両を採用し、観光資源としての役割を持たせることで、交流人口の創出につながり、本市の活性化に寄与できるものとするがどうか
- (3) ぐらしGXのさらなる促進策として、家庭における断熱窓への改修や、高効率給湯器（ヒートポンプ等）の導入に対して、本市独自の支援を実施する考えはないか

5 人口減少対策等について

- (1) 本市は令和6年2月14日に、市民の笑顔があふれるまちづくりに取り組んでいくことを目指す「笑顔あふれるこどものまち宣言」を行ったが、具体的にどのように取り組んでいくのか、また、新たな施策についての考えはどうか
- (2) 若者の地元定着には、安定した雇用の確保並びに賃金水準の向上が重要と考えるが、今後、積極的な企業誘致や地元企業への働きかけを進める上で、どのような取組を行うのか
- (3) 若年女性の地元定着・回帰について、本市の現状をどのように捉えているのか、また、今後どのような対策を講じていくのか

6 中心市街地活性化について

- (1) 千秋公園大手門の堀遊歩道が今年7月に供用開始され、人流の増加が予想されるが、芸術文化ゾーンの各施設とどのように連携してにぎわいを創出していくのか
- (2) 中心市街地と各部局のキャラクターとのコラボレーションによるPR動画を制作し、SNSなどを活用して発信することにより、交流人口の増加やキャラクターの認知度向上に寄与できると考えるがどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 外旭川地区のまちづくりにおいては、都市計画法上、商業施設等を建設することができない土地にもかかわらず、地域未来投資促進法の活用を検討するなど、かなり思い切った手法での整備を目指しているが、これと同じ熱量で臨めば、これまで各議員が提案し、予算や制度の面で困難とされた事業も実現可能と考えるがどうか
- (2) 今年2月の知事の発言にもあったとおり、外旭川地区のまちづくりについて民意を問う必要はないのか、また、仮に民意によって同まちづくりの推進が決まった場合は、どのようにして土地利用制限の課題を解決するつもりなのか
- (3) 本市においては、他自治体に先駆けた新しい取組が少ないように感じるが、市長の評価はどうか、また、あまり挑戦しないのは市内の風潮もあると思うが、その風潮は、市長が影響を与えている可能性はないか
- (4) 一議員では実現が難しいことも首長であれば実現可能であることが多いが、市長が今、実現したいと強く思っていることは何か
- (5) 万博首長連合に加盟していないが、加盟する考えはないか、また、市長は万博反対の立場なのか、さらに、加盟している横手市が大阪・関西万博において、かまぐら展示を行うが、本市においては、万博というPRの好機を生かす取組は行わないのか

2 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 新スタジアムを八橋地区に整備する場合、卸売市場の工期短縮の必要性が薄れるが、工期や工程は変更しないのか、また、卸売市場の位置を現在地から移動させ、商業施設を土地利用の制限が少ない現在の卸売市場敷地に整備するなど、同まちづくり全体を見直す考えはないか
- (2) 同まちづくりにおける市の負担総額は幾らと想定しているのか

(3) 外旭川地区まちづくり事業パートナー選定プロポーザルは出来レースだったのではないかと意見があるが、その意見をどのように受け止めているのか、また、結果的に提案者3の提案内容に近づいていったが、その点についてどう考えているのか、さらに、これらの点を踏まえ、今後、市で行う事業者選定プロポーザルに生かせる教訓は何か

3 新スタジアム整備等について

(1) 民設民営を前提に進めているが現実的に可能なのか、また、整備費の3分の2を公費で負担する計画は民設と言えるのか、さらに、今後、他の民間施設整備を行う際に、整備費の3分の2を公費で負担することはあるのか

(2) 八橋地区に整備する場合、八橋運動公園内の既存施設を統合するなどのコスト削減策を実施し、公設公営で整備する考えはないか、また、同地区に整備する上での課題とその解決策はどうか

(3) 新スタジアムの維持管理に係る赤字を市が負担する可能性はあるのか、また、市が負担する場合には、どのような条件で、どの程度の金額までなら許容されると考えているのか

4 子どもたちの笑顔が輝く秋田市へ

(1) 合計特殊出生率において、他の中核市や県庁所在地と比べて低い水準にあるのは、これまで実施してきた少子化対策がほとんど効果がないことの現れとも考えられるが、子どもを産み育てたいと思えるまちなにするため、今後、どのように取り組んでいくのか

(2) 全国学力・学習状況調査において、秋田県は良好水準とされているものの、難関大学への進学者数、卒業後に秋田市に残る若者の数、秋田市での起業者数など様々な評価指標もあると考えるが、現在の本市の学校教育をどう評価しているのか

(3) 事故に最も遭いやすいとされる「魔の7歳」対策にどのように取り組んでいるのか、また、通学用ヘルメットの無償配布、自転車用ヘルメット購入に対する補助金やライフジャケットの配布など、他自治体

において子どもの事故対策を行っているが、本市で同様の取組を行う考えはないか、さらに、実施に向けた課題とその解決策はどうか

(4) 子どもの窒息事故対策にどのように取り組んでいるのか、また、各小・中学校、幼稚園や保育園への救急車の到着時間は把握しているのか、さらに、各小・中学校、幼稚園や保育園の職員向けに、窒息事故対応の実技訓練を最優先で行うべきではないか

(5) 子どもの救急搬送を断ったケースはどの程度あったのか、また、その後の状況は調査しているのか、さらに、日本臨床救急医学会小児救急委員会が開催している救急隊員向けのトレーニングについて、本市の受講状況はどうか

(6) 本市において、子どもの一時預かり、デイケア、ショートステイ、病児・病後児保育及び学童クラブの一時利用は、働く保護者にとって利用しやすいものになっているのか、また、必要なときにすぐに利用できるように、市として取り組んでいくべきではないか

(7) 保育士等や看護師等の奨学金返還助成について、令和7年度以降も継続する考えはないか、また、保育士等の対象施設に児童養護施設、母子生活支援施設及び乳児院も加えるべきと考えるがどうか

5 公共交通等について

(1) 公共交通への積極的な関与について

ア 都市交通について市が積極的に関与してはどうか、また、バスの利用率が低い理由は、夜間の便数が少ないなどの不便さにあるのではないか

イ 2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて、公共交通分担率の目標値を定めるべきと考えるがどうか、また、交通分野において、カーボンニュートラルの実現に向けてどのように取り組んでいくのか

ウ バス路線網の維持が困難となっているが、市営バスの移管に関し、間接移管方式ではなく民間移管方式を選択したことについての現在の評価はどうか、また、その際の「秋田市交通局の路線移管に関する

る基本協定書」を保存していない理由は何か

エ 第3次秋田市公共交通政策ビジョンで掲げた共同経営体の実現の検討状況はどうか、また、幹線バス路線の一部公営化やいわゆる旧80条バスの運行などを市で行う考えはないか、さらに、その実現に向けた課題は何か

オ バス運転士が不足しているため、公共交通の自動運転化が急務と考えるが、本市において比較的自動運転化しやすい鉄軌道系の公共交通を整備する考えはないか、また、市内のJR線路を利用し、バッテリートラムなどのLRVを混走させ、各踏切ごとに停留所を設けることで、比較的安価に鉄軌道系の公共交通が実現できると思うが、実現に向けて研究する考えはないか

カ タクシー事業者に対して、運転免許返納者に対するタクシー運賃割引分を補助する考えはないか

キ バスやタクシーの運転手不足が深刻であるが、募集活動への補助だけではなく、旧秋田市交通局の職員の派遣や第二種運転免許の取得費用及び給与の補助など、直接的な支援を行う考えはないか

(2) バス路線網の再編及びエリア交通について

ア 市の再編路線網（案）では乗換時間が短く、遅延によって乗り継ぎできない可能性があることに加え、大学病院の外来受付や面会を行っていない時間帯にバスの運行を予定しているなど、利用者の実態に即していない面が見られるが、路線網の再編は適切に行われていると考えているのか

イ エリア交通において1日乗車券や回数券を導入する考えはないか、また、交通系ICカードを利用可能とするため、タクシー事業者への補助を早急に行うべきではないか

(3) 自家用車等の利用について

ア 2050年のゼロカーボンシティの実現に向けて、市有施設にEV用の急速充電ステーション及び燃料電池車や水素自動車用の水素ステーションを整備すべきではないか

イ 道の駅あきた港は大型自動車用の駐車場が少ないなど、道の駅と

して利用しづらいことから、秋田臨海鉄道跡地を活用するため、土地所有者に働きかける考えはないか

6 災害対策・危機管理について

(1) 広報監の新設は考えていないとのことであるが、本市において広報監は本当に必要ないのか、また、広報監がいなくても昨年の大雨災害において市民向けに十分な情報発信が行われたと考えているのか

(2) 令和6年能登半島地震を踏まえた対応について

ア 本市からの応援職員の派遣状況はどうか、また、応援職員のフィードバックから本市の災害対応に生かすことのできるものはあったのか

イ 耐震水道管等の継ぎ手での被害があったが、本市における対策状況はどうか

ウ 大規模地震や繰り返す余震に対して、本市の防災における弱点をどう認識しているのか、また、その対策はどう行っていくのか

(3) 自主避難所への物資の提供は適切に行われるのか、また、在宅避難者に対してどのように対応するのか

(4) 屋外スピーカーを備えた防災無線の設置については、考えていないとのことであるが、他国からの武力攻撃時などにも備えて整備すべきではないか、また、整備するために国などの補助金は活用できないのか

7 まちづくりと地域の活性化について

(1) 秋田市立地適正化計画の策定から6年以上経過し、この間に市長の外旭川地区の開発への態度が変わるなどしているが、これまでの同計画の進捗状況をどう評価しているのか、また、地域自治体の検討もすべきではなかったのか

(2) 仲小路へのアーケードの整備は、地元商店街等が主体となって行うべきとのことであるが、整備に向けて市として関わっていくべきではないか

- (3) 中心市街地の低未利用地を活用し、佐賀市で行われている「わいわい！！コンテナ」のような暫定利用の取組または暫定利用を促進する施策を行う考えはないか
- (4) 呉市において、歩道を公園区域に変更して、電源と上下水道を整備し屋台を公募する取組が行われているが、同様の取組を中土橋などで行う考えはないか、また、実現に向けた課題とその解決策はどうか
- (5) 中心市街地にマンションを建設する際、1階をテナントとするよう市として働きかけていくべきではないか、また、本市の顔ともいえる広小路において、テナントがないマンションの建設が進んでおり、建設地が50年程度商業地として使えなくなる現状をどう捉えているのか
- (6) 街路樹について、剪定方法などの管理状況や樹木の種類で市民サービスセンターごとに差があると感じるが、緑豊かな公園都市にふさわしい管理はできないのか、また、樹木の適正な管理やPRという観点から、公園課で担当すべきではないか
- (7) 「これが秋田だ！食と芸能大祭典」について、これまでの開催をどう評価し、どのような波及効果があったと考えているのか、また、県外からの観光客向けのイベントにもかかわらず、県外からの集客はほとんどできてないと考えるがどうか、さらに、いつまで開催するつもりなのか

8 安全安心な暮らしに向けて

(1) 北朝鮮による拉致問題について

ア 映画「めぐみへの誓い」のDVDが市立中学校に寄贈されたが、活用状況はどうか、また、本市でも北朝鮮による拉致被害が疑われるケースがあるが、北朝鮮拉致問題に関しての学習はどのように行われているのか

イ ポートタワーセリオン等の市有施設において、北朝鮮人権侵害問題啓発週間に特別ライトアップを行う考えはないか

(2) がん患者へのサポートについて

ア がん患者のウィッグ・乳房補正具の購入費用助成について、他自

治体と比較し、本市の金額は十分と考えているのか

イ 市としてヘアドネーションを促進する考えはないか、また、男性を含む市職員がヘアドネーションを行う上での課題はあるのか

(3) 熊対策について、どのように取り組んでいるのか、また、登下校時における児童生徒の安全確保策はどうか、さらに、無人カメラやドローンなどで熊が確認された場合、秋田市公式LINEや防災ネットあきたメール配信システムなどで市民に速やかに周知してはどうか

(4) 本市の水道水におけるネオニコチノイド系農薬の対策はどうなっているのか、また、雄物川上流地域の自治体と農薬の使用について協議する考えはないか

(5) 生活保護費における障害者加算の認定誤りについて、過支給分の返還を求めないことはできないのか、また、返還を求める場合にも、領収書などの証拠書類を紛失していても自立更生に資する費用を控除するなど、柔軟に対応すべきではないか

9 市議会への関心を高める取組について

(1) 令和5年9月市議会定例会において、「他市の事例を注視しながら検討を進めてまいります」といった答弁は分かりにくいという趣旨の質問をしたが、その後の使用状況はどうか、また、そのような答弁をするのであれば、検討期間などを決めておくべきと考えるがどうか

(2) 他自治体で行われている議会答弁書の事前配付を本市でも行う考えはないか、また、実現に向けた課題とその解決策はどうか

1 古川流域の総合的な治水対策事業について

- (1) 県の猿田川樋門の整備の際に、古川の既設の護岸整備も併せて県に実施してもらうことはできないのか、また、県が実施しない場合、本市は、当該護岸整備をいつ実施するのか
- (2) 猿田川樋門の整備方法による古川への影響について、本市は、古川流域の総合的な治水対策協議会の会長、また、古川の河川管理者の立場として、どのように考えているのか
- (3) 仁井田潟中町地区へのポンプ設置を令和7年度末までに完成させることとしているが、昨今の降雨事情を踏まえ、同事業が完了するまでの間、同地区へさらなる浸水被害軽減策を講じる考えはないか
- (4) 今年度から、同事業における全ての工事が着手されることとなるが、当初の完了予定である令和7年度末より遅れることはないのか
- (5) 排水機場やゲート設備などの河川管理施設の稼働について、今後、段階的に遠隔による操作や自動化へ移行すべきと考えるがどうか
- (6) 河川からの逆流による浸水被害を防ぐため、樋門や樋管などの河川ゲートについては、人的操作を必要としない無動力のゲート設備の導入を推進すべきと考えるがどうか

2 防災について

- (1) 災害時に立体駐車場を開放する旨の条項を協定書に追加することについて、商業施設と協定内容を検討するとしていたが、その結果はどうか
- (2) 本市は、（仮称）秋田市水防センターの検討に当たり、地域住民等にアンケート等を実施し、そこで出された意見を参考にしながら、国と協議を行うとしていたが、地域住民等からの意見をどのように受け止めているのか、また、国と連携して同センターも含めた秋田地区河川防災ステーションの整備が進められているが、地域住民からの意見をどう反映したのか

3 独り暮らしの高齢者への支援について

- (1) 本市における独り暮らしの高齢者支援の現状と課題はどうか、また、今後、どのように対応するのか
- (2) 独り暮らしの高齢者の生活を支え、死後の尊厳を守るため、本市も積極的に終活支援の仕組みづくりに取り組んでいく必要があると思うが、終活支援の推進について、どのように考えているのか

4 外国人材の受入れと多文化共生社会の実現について

- (1) これまでの取組と今後の対応はどうか
- (2) 外国人材を受け入れるためのノウハウ等が乏しく、受入れ体制を整備できない中小企業に対し、本市が支援すべきと考えるがどうか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 重要土地利用規制法に基づく注視区域に指定されたことにより、何が規制され、市民にどのような影響があるのか、また、住民説明会を開催すべきではないか
- (2) 物価高騰等が続いている今、市民生活を応援する施策が必要と思うがどうか
- (3) 小・中学校の給食費を無償化すべきではないか

2 ジェンダー平等などについて

- (1) ジェンダー平等に関する市民の意識を高めるため、具体的にどう取り組んでいくのか
- (2) 女性管理職の登用率や審議会の女性の比率を高めるための取組は何か
- (3) 男性職員が育児休業を取得しやすい環境づくりをどう進めていくのか
- (4) 職員の育休取得に伴う収入減分を補償すべきではないか
- (5) (仮称) 子育て支援休暇を新設してはどうか
- (6) 市立小・中・高等学校等の女子トイレに生理用品を配置すべきではないか
- (7) ファミリーシップ制度を創設すべきではないか
- (8) ジェンダー平等について、総合的に推進する組織を設置してはどうか

3 国民健康保険について

- (1) マイナ保険証について
 - ア トラブルの対応をどう考えているのか
 - イ マイナンバーカードを持っていない方に発行する資格確認書について、広く周知する必要があると考えるがどうか

(2) 都道府県化による保険料の統一化について

ア 国民健康保険法第81条には、保険料率を決める権限は市にあると規定されているが、その権限は維持できなくなるのか

イ 県が10年後の全県統一を目指していることについて、どう考えているのか

ウ 第3期秋田県国民健康保険運営方針に従う義務はないことから、市単独で運営すべきではないか

(3) 国民健康保険税の18歳以下の均等割を無料にすべきではないか、また、実施できない場合、せめて未就学児の均等割を無料にできないか

(4) 国民健康保険事業財政調整基金を処分し、被保険者の負担軽減をすべきではないか

4 昨年の豪雨災害の検証と課題について

(1) 昨年の豪雨災害の教訓を今後どう生かすのか

(2) 被災された方の生活やなりわいの再建に向けた支援はどこまで進んでいるのか、また、完了はいつと考えているのか

(3) 市営住宅に避難した高齢者世帯の入居要件を緩和し、今後も入居を継続できるようにすべきではないか

(4) 浸水した空き家の解体は、所有者の意思確認を行った上で、市の責任で行うべきではないか

5 外旭川地区まちづくりについて

(1) 二転三転する当該まちづくりについて、市長は責任をどう考えているのか

(2) 卸売市場の再整備を単独で進め、外旭川地区まちづくり事業は断念すべきではないか

6 生活保護世帯の障害者加算の認定誤りによる保護費の返還等について

(1) 過大支給分の費用返還は、どこまで進んだのか

(2) 対象世帯への調査方針は、ケースワーカーにどのように伝えたのか

- (3) 初診日の確認について、本来は、県が保管する精神障害者保健福祉手帳を発行した際の医師の診断書に基づいて行うべきであったにもかかわらず、そのように対応しなかったのはなぜか
- (4) 県の指導では、自立更生に資する費用として認められる範囲に、食費や生活費も排除されないとしていることから、全てを自立更生と認めるべきではないか
- (5) 精神疾患を抱える方に対し、市の間違いにより、一年近くにわたり不安や苦痛を与えていることをどう考えているのか
- (6) 精神障がい者も精神障害者保健福祉手帳による確認だけで加算支給ができるよう、国に強力に求めるべきではないか

7 第9期介護保険事業計画について

- (1) 介護保険施設等の休廃止の原因は何か、また、その影響と今後の対策はどうか
- (2) 保険料の算定について
 - ア どういう考え方で算定したのか
 - イ 国が示した最も高い乗率2.4に対し、本市は1.9とした理由は何か
 - ウ 高額所得者に応分の負担を求めるべきではないか
- (3) 介護サービスを利用していない方及び要支援の認定を受けた方への施策が必要ではないか
- (4) 介護保険事業財政調整基金について
 - ア 多額の残高は、被保険者から多く徴収したということにならないのか
 - イ 基金を処分し、被保険者の負担軽減をすべきではないか

8 地域課題について

- (1) 雄和グラウンドゴルフ場を早期に改修整備すべきではないか
- (2) ふるさと温泉ユアシスについて
 - ア 観光施設としての機能を強化できるよう指定管理料を設定すべきではないか

イ 令和7年度から改修工事に着手するとしているが、前倒しできないのか

(3) 雄和体育館の改修はいつ着手するのか

1 再犯防止について

- (1) 秋田市・保護観察所・保護司会の三者による、再犯防止の推進に関する連携を強化してはどうか
- (2) 秋田市再犯防止推進計画の策定から3年が経過したが、再犯防止の推進に向け、さらなる取組を考えるべきではないか

2 居住支援について

- (1) 低額所得者、高齢者、障がい者等、住居の確保が困難な方を支援するため、本市に居住支援協議会を設立してはどうか
- (2) 賃貸住宅の大家等が家賃・家賃債務保証料の低廉化に係る補助や、改修への補助等が受けられるようなセーフティーネット住宅の登録を推進すべきと考えるがどうか
- (3) 市営住宅の入居について、家賃債務保証制度を導入してはどうか

3 指定管理者制度について

- (1) 指定管理料の余剰金の取扱いについて、マニュアル等は作成しているのか
- (2) 指定管理料の余剰金について、部局により取扱いが異なることから、統一できるよう、取決めを見直すべきではないか
- (3) 収支がゼロ円となっている指定管理業務について、検証等を行っているのか
- (4) 現時点で指定管理者制度の問題点をどのように捉えているのか

4 市職員の処遇改善について

- (1) 県は人事委員会勧告により民間企業の給与と同水準になるよう均衡を図っているが、市職員の給与は県職員よりも低水準であることから、市も県と同程度にすべきではないか
- (2) 再任用職員について、定年延長者との給与水準の格差を是正すべき

ではないか、また、一時金についても同率にすべきではないか

(3) 会計年度任用職員の給料表の適用上限を引き上げるべきではないか

(4) 熊への対応など、緊急対応に備えて携帯電話を持ち帰る職員に対し、手当を支給すべきではないか

5 本市職員におけるハラスメントについて

(1) ハラスメントの問題をどう認識しているのか、また、職員に対する研修など、ハラスメント防止のための啓発活動は定期的に行っているのか

(2) ハラスメント防止のためのガイドラインは作成しているのか、また、ガイドラインは職員や市民に公開されているのか

(3) 相談や通報を行う場合、相談者や通報者の匿名性が保たれるような安全な仕組みになっているのか

(4) 専門的に対応する部署はあるのか、また、被害者のサポートや調査等の対応は迅速かつ適切に行われているのか

(5) 被害者の証言の確認や証拠の収集は、どのように行っているのか

(6) 必要に応じて心理学者等の専門家に相談し、被害者の心理状態を評価してはどうか

(7) ハラスメントの調査において第三者機関を設置する考えはないか

(8) ハラスメントに関するアンケート調査は行っているのか

6 市立小・中学校でのいじめ問題について

(1) 市立小・中学校において、過去5年間に重大事態の報告はあるのか、また、その対応はどうか

(2) 過去5年間でいじめを理由に不登校になった事例はあるのか

(3) スクールソーシャルワーカーへの相談件数は、どのくらいあるのか

(4) スクールソーシャルワーカーについて、保護者にはどのように説明しているのか

(5) 加害児童生徒にはどのように対応しているのか

7 地域の諸課題について

- (1) 秋田臨海鉄道の廃線路跡をサイクリングロードやジョギングコース等として活用してはどうか
- (2) 中心市街地と同様に、他地区でも開業に係る支援を行う考えはないか
- (3) 旭又登山口に至る林道等について
 - ア 現在通行止めとなっているが、復旧見込みはどうか
 - イ 復旧後は旭又登山口からの登山道を優先的に整備すべきではないか

1 市長の政治姿勢について

(1) 外旭川地区のまちづくりについて

ア 外旭川地区まちづくり基本計画の内容について市民の理解を得るため、より丁寧な説明が必要と考えるがどうか

イ 同地区のまちづくり実現のため、市長自らが知事選に出馬する考えはないか

2 昨年の豪雨災害への対応状況等について

(1) 復旧状況等について

ア 市管理河川及び市道の被害額と復旧状況はどうか、また、今後の課題は何か

イ 農地の被害額及び復旧状況はどうか、また、今後の課題は何か

ウ 復旧工事の入札不調に伴う影響をどのように考えているのか

(2) 防災体制等について

ア 昨年の豪雨災害を踏まえた防災体制や災害対応体制の具体的な内容は何か

3 保育環境について

(1) 保育士の人材確保について

ア 保育士の人材確保に係るこれまでの支援状況はどうか、また、今後の支援について、どのように考えているのか

イ 新たに市内の認可保育所等に就職する保育士等の奨学金返還助成事業の利用状況とその評価はどうか

(2) 保育施設における障がい児保育の支援体制について

ア 施設においてあらかじめ受入れ体制を整えるため、障がい児の状況を行政が入所前に把握し、施設と連携を取るべきと考えるがどうか

イ 特別な配慮を要する子どもの受入れに対する支援体制を構築すべ

きと考えるがどうか

- (3) 保育施設が自然災害等で被害を受けた場合のガイドライン等の作成や保育の継続に向けた連携体制の整備が必要と考えるがどうか

4 ICTを活用した教育について

- (1) G I G Aスクール構想の取組状況と今後の展望はどうか

5 老人福祉施設の整備について

- (1) 特別養護老人ホームの改築に係る補助金について、本市の基礎単価が県よりも低くなっていることから、県と同額にすべきと考えるがどうか、また、今後引上げを行う予定はあるのか

6 選挙における投票率の向上について

- (1) これまでの取組の成果及び今後の取組について、どのように考えているのか

7 記念行事等の開催について

- (1) 秋田市・河辺町・雄和町の合併20周年を迎えるに当たり、市民の郷土愛を醸成するとともに、本市の魅力発信や地域活性化の契機とするため、記念行事等を開催する考えはないか

8 道の駅の設置について

- (1) 国道13号の河辺拡幅に伴い、（仮称）道の駅かわべの設置に向けて取り組んでいく考えはないか

9 河辺地域における産業振興等について

- (1) 県産ウイスキー蒸留所や木桶工房整備の進捗状況はどうか
- (2) 岩見三内地区における公園等の今後の整備に係る検討状況はどうか

1 外旭川地区のまちづくりについて

- (1) 卸売市場、新スタジアム及び民間施設の3施設は、事業としてどのようにして有機的につながり、どのような相乗効果が生まれると考えているのか
- (2) 秋田市外旭川地区まちづくり基本計画を推進するに当たり、インフラ整備に関して本市が負担しなければならない経費は幾らくらいと考えているのか
- (3) 新スタジアムの整備地が外旭川地区でなければならない理由は何か、また、八橋地区を含めた候補地の再検討を幅広く行ってはどうか、さらに、幅広い候補地の再検討を行う場合、いつまでに、どのような条件がそろえば建設地の決定に至るのか

2 人口減少対策について

- (1) 若者の定住策として、市役所の新規採用試験の前倒しや初任給の引上げなどの処遇改善を検討してはどうか
- (2) 民間企業における外国人労働者の受入れを促進するため、本市が外国人に対して、住居や生活面などの支援を行う考えはないか
- (3) 若者の市外流出を防止するため、市内在住の高校生や大学生が卒業後の一定の期間内に市内企業へ就職した場合、お祝い金などを支給してはどうか

3 中心市街地について

- (1) 中心市街地を取り巻く社会環境は目まぐるしく変化してきていることから、公営駐車場の再整備について、秋田市駐車場公社と協議の場を持つ考えはないか
- (2) 旧産業会館跡地に「パーク&ライド」の拠点機能を取り入れた施設を整備し、来街者の回遊性を高める考えはないか

4 市有施設の所管について

- (1) 現状の市有施設の利用実態を見極めながら、所管の適正化を検討すべきではないか

5 次世代の若者に対する施策について

- (1) 若者の移住定住に向けた事業を展開する上で、「ミラーライアーフィルムズアキタ（未来創造人材育成・映像プロモーション事業）」を実施することにより得たものは何か、また、その習得したものを、今後、若者に対するメッセージ性のある施策としていくため、どのように展開・発展させていこうとしているのか